

2026 年 9 月 8 日

報道関係者各位

プレスリリース

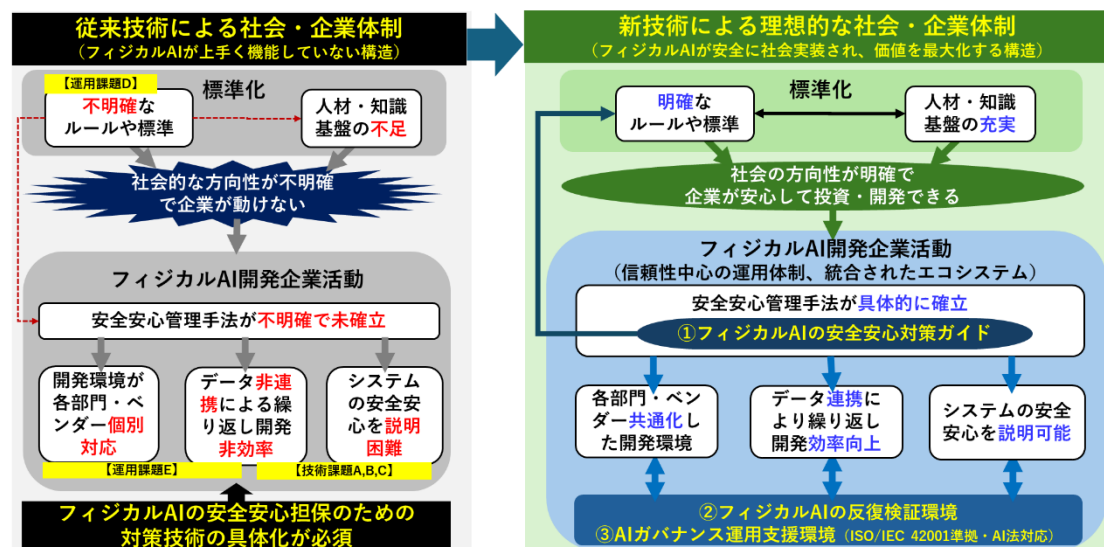
株式会社ウィッツ

(証券コード:4440)

フィジカル AI の社会実装を支える安全・安心保証技術の研究開発を開始
～Go-Tech 事業に採択、自動車、協働ロボット、建設、航空・宇宙などへの展開を視野～

株式会社ウィッツ(本社:名古屋市中区、代表取締役:服部 博行、以下「当社」)は、
「中小企業庁 令和 8 年度成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech 事業)」(※1)において、研究テーマ「フィジカル AI の社会実装を加速させる安全安心保証技術及びセキュリティ対策技術の研究開発」が採択されました。当社がプロジェクトリーダーとして産学官連携の研究開発を推進し、フィジカル AI を実社会で継続的かつ安全に運用するための基盤技術の確立と事業化を目指します。

フィジカル AI は、AI が認識・判断するだけでなく、ロボットや機械を通じて現実世界に直接作用する技術です。自動運転や協働ロボットに加え、今後は建設や航空・宇宙など、人と機械が共存し、天候・地形・周辺環境が変化する領域への拡大が見込まれます。こうした領域では、AI の性能だけでなく、想定外の状況を含めて安全性を検証し、AI モデルの更新後も安全性と説明責任を継続して維持できる仕組みが社会実装の重要な条件となります。



本研究事業では、当社がこれまでの公的研究事業で蓄積した技術を統合・高度化し、①フィジカル AI の標準適合手法・安全対策ガイド、②AI 更新時の効率的な再検証環境、③AI ガバナンスを継続運用するための支援環境の構築を進めます。

・AI システムの安全論証技術 (SEAMS Project、平成 29 年度サポイン事業採択) (※2)

・人と AI の共進化支援技術 (HMCES Project、令和 4 年度 Go-Tech 事業採択) (※3)

【事業化を見据えた市場展開】

当社は本研究成果の事業化に向け、フィジカル AI 向け安全保証技術の展開可能性を 19 分野で比較しました。2026 年 8 月 31 日時点の中間分析では、不確実性・安全要求・事故リスク・人との相互作用が大きい用途ほど当社技術との適合性が高い傾向が確認され、自動車、協働ロボット、建設、航空・宇宙が有望候補となっています。

分野	市場調査における適合ポイント	事業化で目指す価値
自動車	公道で人と AI が共存し、安全要求・規制が厳格。自動車分野で培った組込み・安全技術との連続性も高い	自動運転・SDV を見据え、安全論証、AI 更新時の再検証、継続的な安全保証を支援
協働ロボット	人と同じ空間で相互作用する典型的なフィジカル AI で、安全定義・論証・実機実装・継続保証との親和性が高い	人近接環境のリスク評価から仮想検証、実装、AI 更新後の再検証まで一貫支援
建設	屋外・不整地・人混在・天候変化など不確実性が大きく、当社の安全論証・仮想検証・組込み技術が一体で活きる	安全計画・論証から PoC、AI 更新後の再検証まで継続支援
航空・宇宙	安全要求・規制が極めて厳しく、実機では再現しにくい異常条件を含む網羅検証の重要性が高い	安全論証、シミュレーション検証、規格対応を高度化

研究成果の事業化では、個別の安全設計・論証支援にとどまらず、仮想シミュレーションによる網羅検証、AI モデル更新時の再検証・ガバナンス維持へと支援範囲を広げます。導入から運用・更新まで継続して支えることで、継続契約型の事業モデルの構築を目指します。

当社は、25 年以上にわたり培ってきた組込みシステム開発、AI 安全論証、仮想シミュレーションの技術と、これまで国内約 20 社の AI システム安全保証を支援した実績を基盤に、本研究開発を既存領域から新市場へ展開する起点と位置付けています。研究開発と市場探索を並行して進め、先行する知財・実証・顧客基盤を積み上げることで、フィジカル AI 時代の新たな収益基盤への成長を目指します。

※上記の市場展開は現時点の調査・検討方針であり、研究開発や市場環境等により変更となる可能性があります。

【補足説明】

※1 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）の概要

中小企業等が大学、公設試等の研究機関等と連携して行う、ものづくり基盤技術及びサービスの高度化に向けた研究開発及び事業化に向けた取組を、中小企業庁が一貫支援する事業です。

<https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/hojyokin/kobo/2026/260216001.html>

※2 「自律的自動運転の実現を支える人工知能搭載システムの安全性立証技術の研究開発」

本研究テーマは、平成 29 年度の公募において 3 年間の研究事業として採択されました。本研究で獲得した技術を活用して、国内約 20 社向けに AI システムの安全保証支援を実施。本プロジェクトは、SEAMS Project の名称で、対外的に活動や成果を紹介しております。

<https://www.seams-p.jp/>

※3 「機械の潜在能力を持続的に向上させる共進化(Co-evolution)ガイドラインの研究開発」

本研究テーマは、令和4年度の公募において 3 年間の研究事業として採択されました。本プロジェクトは、HMCES Project の名称で、対外的に活動や成果を紹介しております。

<https://www.hmces-p.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ウィッツ

IR 担当窓口: 佐藤・服部(孝) TEL: (052)-950-5868 Mail: ir-kanri@witz-inc.co.jp